

独立行政法人 物質・材料研究機構 科学情報室

独立行政法人 物質・材料研究機構 (NIMS) は、2001年に前身である2つの国立研究所 (金属材料技術研究所、無機材質研究所) を統合し、国内で唯一の物質・材料分野に特化した基礎研究を行う独立行政法人として設立されました。

Profile: 研究者数：研究職 約500名 (エンジニアなどを含めると約1,200名)

図書室3地区 (つくば市千現、並木、桜)

図書担当職員3名

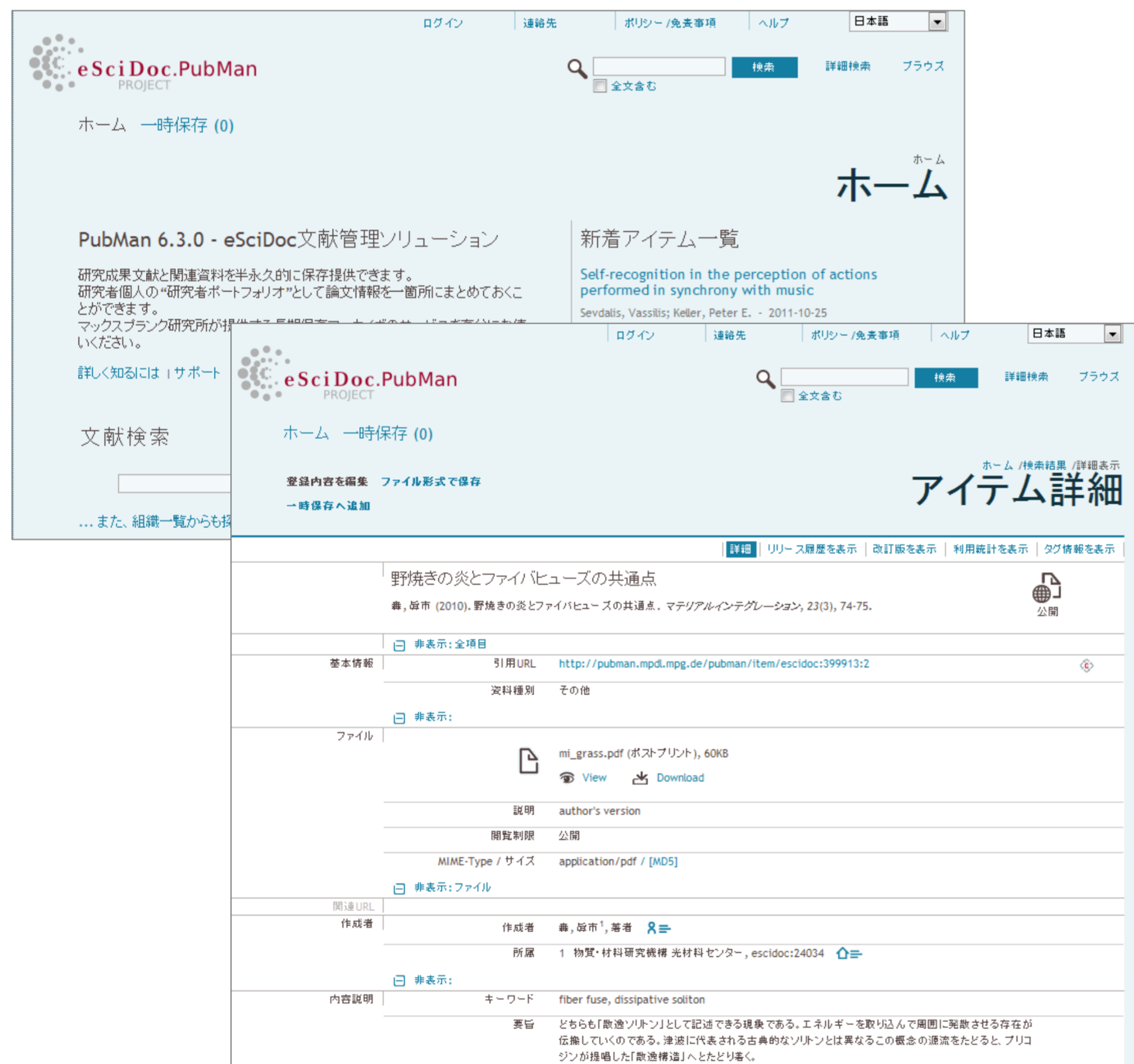
蔵書：書籍約23,000冊 (Eブック含む)、オンラインジャーナル約700タイトル、製本雑誌約400タイトル、データベース13件

科学情報室 は、NIMSにおける情報基盤の整備及び発信を担う部門として、1) 専門図書館の運営、2) ウェブを活用した物質・材料分野の情報基盤の構築と提供、3) オープンアクセス雑誌『Science and Technology of Advanced Materials』誌の編集発行を主たる業務としています

機関リポジトリ NIMS eSciDoc

<http://pubman.mpg.de>

NIMSでは、2008年よりドイツのマックスプランク研究所デジタルライブラリー部門 (MPDL) とデジタルライブラリーシステムの共同研究開発契約を結び、科学技術分野のEサイエンス用ソリューションを開発、NIMS eSciDocとして日本語化を行いました。研究者自身によるセルフアーカイブを基本コンセプトとする機関リポジトリソフトウェアとして、PubMan (文書系)、IMEJI (画像系) を提供しています。

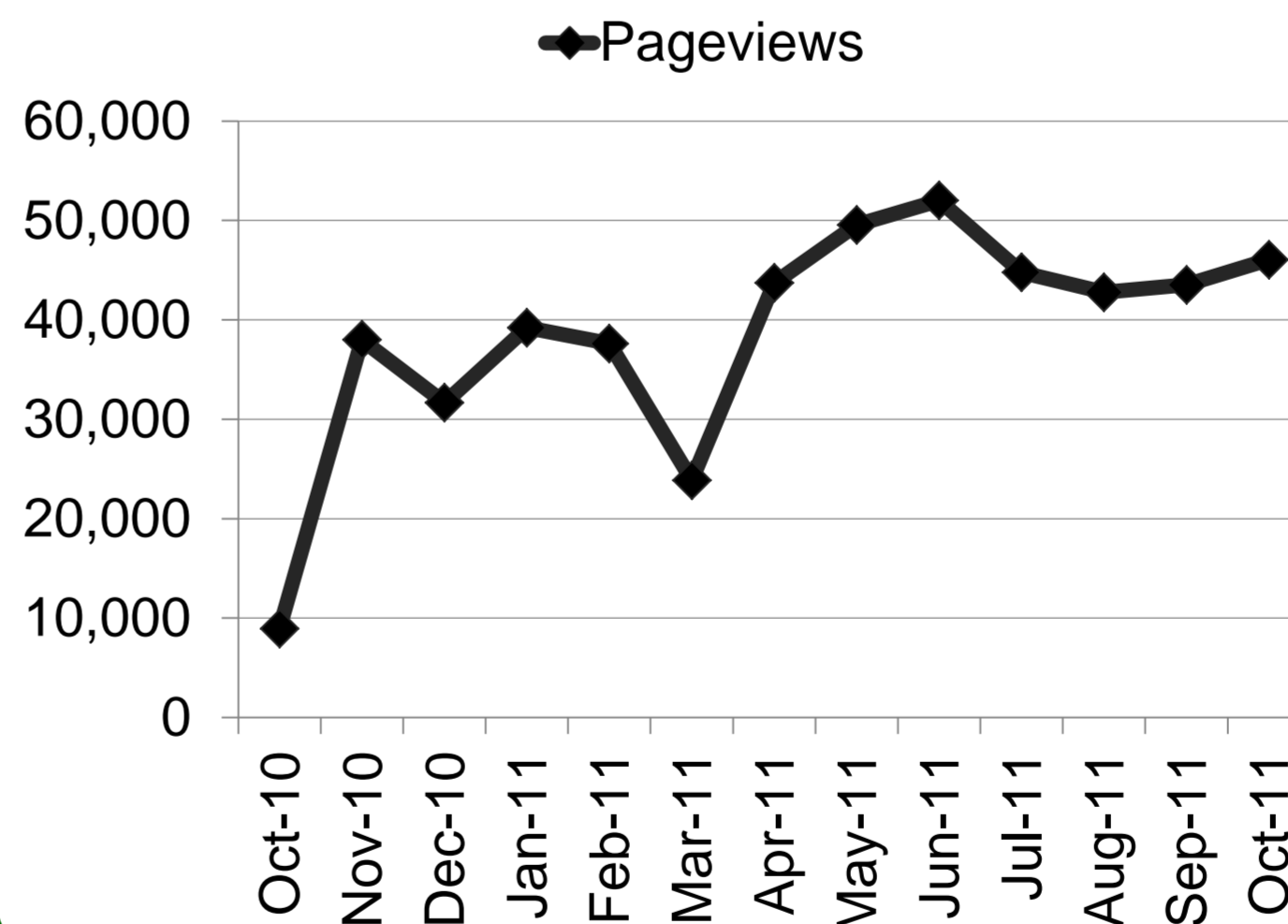


実験画像データの管理公開ソフトウェアIMEJIの試験運用を始めました。撮影対象や実験条件にあわせてメタデータスキーマを改良できる編集アップロード機能、データ保存から閲覧、検索までをサポートします。論文等で参照する補完データとして引用可能なURLが付き、PubManとも相互参照できます。
<http://imeji.org>

研究者総覧システム SAMURAI

<http://samurai.nims.go.jp>

機関リポジトリNIMS eSciDocと、機構内の業績評価データベースや職員管理データベースとの連携による研究者総覧システムSAMURAIを開発し、公開しています。研究者の所属や業績一覧だけでなく、研究者自らが現在進行形の研究テーマやキーワード、成果を自在に表現できるUI (編集機能) を用意しています。機関としてのみならず、研究者自身によるアウトリーチの一環として公開促進を図っています。



SAMURAIへのアクセスは月間4-5万PVと安定したアクセスを集めています。



つくば市上空から見たNIMS千現地区



NIMS千現地区本部棟



千現地区図書室の改装 (2009年)



東北地方太平洋沖地震直後の千現地区図書室